

5. 排水対策

(1) 排水水門

(2-1)

(第11表-2)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積(ha)			計画排水量	
		事業名			排水量 (m <sup>3</sup> /s)	地区内 湛水深(m)
				計		
計						

(2-2)

(第11表-2)

項目 名称	排水本川			備考
	名称	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	計画洪水位 (m)	
計				

(2) 排水機

(2-1)

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積(ha)			計画排水量	
		事業名			排水量 (m <sup>3</sup> /s)	地区内 湛水深(m)
				計		
計						

(2-2)

(第11表-3)

項目 名称	排水機				備考
	実揚程 (m)	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	台数 (台)	全排水量 (m <sup>3</sup> /s)	
計					

## (3) 排水路

(2-1)

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積(ha)			計 画 排水量 (m <sup>3</sup> /s)	延 長 (km)	構 造
		事 業 名					
		区画整理		計			
1号排水路	0.0015	0.15		0.15	0.025	0.078	U-300
2号排水路	0.0148	1.48		1.48	0.246	0.153	U-600
3号排水路	0.0075	0.75		0.75	0.125	0.104	U-300
4-1号排水路	0.0093	0.93		0.93	0.155	0.067	U-360
4-2号排水路	0.0055	0.55		0.55	0.091	0.080	U-300
5号排水路	0.0902	9.02		9.02	1.502	0.159	U-1000
6号排水路	0.0110	1.10		1.10	0.183	0.094	U-300
7号排水路	0.0161	1.61		1.61	0.268	0.169	U-600
8号排水路	0.1035	10.35		10.35	1.723	0.090	U-1000
9号排水路	0.0006	0.06		0.06	0.010	0.068	U-300
10号排水路	0.0123	1.23		1.23	0.204	0.156	U-450
11号排水路	0.1357	13.57		13.57	2.258	0.158	U-1000
12号排水路	0.0008	0.08		0.08	0.013	0.065	U-300
13号排水路	0.0188	1.88		1.88	0.313	0.073	U-450
14号排水路	0.0186	1.86		1.86	0.309	0.224	U-600
15号排水路	0.0031	0.31		0.31	0.052	0.110	U-300
16号排水路	0.0405	4.05		4.05	0.673	0.005	U-600
小計	0.4898	48.98		48.98		1.853	

(2-2)

(第11表-4)

項目 名称	排 水 本 川			備 考
	名称	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	計画洪水位 (m)	
1号排水路	—	—	—	U-300
2号排水路	—	—	—	U-600
3号排水路	—	—	—	U-300
4-1号排水路	—	—	—	U-360
4-2号排水路	—	—	—	U-300
5号排水路	—	—	—	U-1000
6号排水路	—	—	—	U-300
7号排水路	—	—	—	U-600
8号排水路	—	—	—	U-1000
9号排水路	—	—	—	U-300
10号排水路	—	—	—	U-450
11号排水路	—	—	—	U-1000
12号排水路	—	—	—	U-300
13号排水路	—	—	—	U-450
14号排水路	—	—	—	U-600
15号排水路	—	—	—	U-300
16号排水路	—	—	—	U-600
小計				

## (3) 排水路

(2-1)

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積(ha)			計 画 排水量 (m <sup>3</sup> /s)	延 長 (km)	構 造
		事 業 名					
		区画整理		計			
17号排水路	0.1793	17.93		17.93	2.984	0.190	U-1000
1号横断溝	0.0756	7.56		7.56	1.258	0.005	管渠型側溝900
2号横断溝	0.1031	10.31		10.31	1.716	0.011	BOX1.0m×1.0m
3号横断溝	0.1240	12.40		12.40	2.063	0.018	BOX1.0m×1.0m
4号横断溝	0.1672	16.72		16.72	2.782	0.009	BOX1.0m×1.0m
5号横断溝	0.0182	1.82		1.82	0.303	0.012	管渠型側溝400
6号横断溝	0.0374	3.74		3.74	0.623	0.010	管渠型側溝500
7号横断溝	0.0031	0.31		0.31	0.052	0.005	管渠型側溝300
8号横断溝	0.0055	0.55		0.55	0.091	0.010	管渠型側溝600
1-1号水兼農道	0.0148	1.48		1.48	0.246	0.153	アスファルト舗装
1-2号水兼農道	0.0106	1.06		1.06	0.177	0.157	アスファルト舗装
2-1号水兼農道	0.0018	0.18		0.18	0.030	0.160	アスファルト舗装
2-2号水兼農道	0.0019	0.19		0.19	0.031	0.168	アスファルト舗装
3-1号水兼農道	0.0430	4.30		4.30	0.715	0.089	アスファルト舗装
3-2号水兼農道	0.0608	6.08		6.08	1.011	0.107	アスファルト舗装
3-3号水兼農道	0.0024	0.24		0.24	0.040	0.103	アスファルト舗装
4-1号水兼農道	0.0111	1.11		1.11	0.185	0.154	アスファルト舗装
小計	0.8598	85.98		85.98		1.361	

(2-2)

(第11表-4)

項目 名称	排 水 本 川			備 考
	名称	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	計画洪水位 (m)	
17号排水路	—	—	—	U-1000
1号横断溝	—	—	—	管渠型側溝900
2号横断溝	—	—	—	BOX1.0m×1.0m
3号横断溝	—	—	—	BOX1.0m×1.0m
4号横断溝	—	—	—	BOX1.0m×1.0m
5号横断溝	—	—	—	管渠型側溝400
6号横断溝	—	—	—	管渠型側溝500
7号横断溝	—	—	—	管渠型側溝300
8号横断溝	—	—	—	管渠型側溝600
1-1号水兼農道	—	—	—	アスファルト舗装
1-2号水兼農道	—	—	—	アスファルト舗装
2-1号水兼農道	—	—	—	アスファルト舗装
2-2号水兼農道	—	—	—	アスファルト舗装
3-1号水兼農道	—	—	—	アスファルト舗装
3-2号水兼農道	—	—	—	アスファルト舗装
3-3号水兼農道	—	—	—	アスファルト舗装
4-1号水兼農道	—	—	—	アスファルト舗装
小計				

## (3) 排水路

(2-1)

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積(ha)			計 画 排水量 (m <sup>3</sup> /s)	延 長 (km)	構 造
		事 業 名					
		区画整理		計			
4-2号水兼農道	0.0174	1.74		1.74	0.290	0.237	アスファルト舗装
5-1号水兼農道	0.0008	0.08		0.08	0.013	0.162	アスファルト舗装
5-2号水兼農道	0.0031	0.31		0.31	0.052	0.231	アスファルト舗装
6-1号水兼農道	0.0004	0.04		0.04	0.007	0.074	アスファルト舗装
6-2号水兼農道	0.0145	1.45		1.45	0.242	0.098	アスファルト舗装
6-3号水兼農道	0.0315	3.15		3.15	0.524	0.087	アスファルト舗装
小計	0.0677	6.77		6.77		0.889	

(2-2)

(第11表-4)

項目 名称	排 水 本 川			備 考
	名称	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	計画洪水位 (m)	
4-2号水兼農道	—	—	—	アスファルト舗装
5-1号水兼農道	—	—	—	アスファルト舗装
5-2号水兼農道	—	—	—	アスファルト舗装
6-1号水兼農道	—	—	—	アスファルト舗装
6-2号水兼農道	—	—	—	アスファルト舗装
6-3号水兼農道	—	—	—	アスファルト舗装
小計				

(4) その他 該当無し

6. たん水検討 該当なし

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道路

(2-1)

項 目 路線名	幅 (有効)×延長 (m) (km)	構 造	既設道路との関係	備 考
1-1号水兼農道	5.0(4.0) × 0.153	アスファルト舗装	東江前旧道線、1-2号水兼農道へ接続	
1-2号水兼農道	5.0(4.0) × 0.157	〃	1-1号水兼農道、ミナト縦線へ接続	
2-1号水兼農道	5.0(4.0) × 0.160	〃	伊江島環状線、2-2号水兼農道へ接続	
2-2号水兼農道	5.0(4.0) × 0.168	〃	2-1号水兼農道、ミナト縦線へ接続	
3-1号水兼農道	5.0(4.0) × 0.089	〃	並里軍道東線、3-2号水兼農道へ接続	
3-2号水兼農道	5.0(4.0) × 0.107	〃	3-1号水兼農道、3-3号水兼農道へ接続	
3-3号水兼農道	5.0(4.0) × 0.103	〃	3-2号水兼農道、伊江島環状線へ接続	
4-1号水兼農道	5.0(4.0) × 0.154	〃	ミナト縦線、4-2号水兼農道へ接続	
4-2号水兼農道	5.0(4.0) × 0.237	〃	4-1号水兼農道、村道へ接続	
5-1号水兼農道	5.0(4.0) × 0.162	〃	ミナト縦線、5-2号水兼農道へ接続	
5-2号水兼農道	5.0(4.0) × 0.231	〃	5-1号水兼農道、村道へ接続	
6-1号水兼農道	5.0(4.0) × 0.074	〃	並里軍道東線、6-2号水兼農道へ接続	
6-2号水兼農道	5.0(4.0) × 0.098	〃	6-1号水兼農道、6-3号水兼農道へ接続	
6-3号水兼農道	5.0(4.0) × 0.087	〃	6-2号水兼農道、伊江島環状線へ接続	
合 計		1.980		

(2) 索道

(第12表-2)

項目 路線名	能力 (t/hr)	延長 (m)	接続道路名	備考

2. 路線配置図 (別添 計画道路図)

第6節 農用地造成計画（該当無し）

1. 農用地造成計画 該当なし

(1) 農用地造成計画

(第13表-1)

項目 土地利用区分	主要作物	自然傾斜	耕地の形状	標準区画の形状	備 考

(2) 末端道水路配置図

2. 土壌改良 該当なし

(2-1)

(第13表-2)

項目 土地利用区分	面積 (ha)	土 壤 統(区)名	pH		置換酸度 (Y <sub>1</sub> )
			H <sub>2</sub> O	KCl	

(2-2)

(第13表-2)

項目 土地利用区分	りん酸吸収 係 数 (mg/100g)	ha当たり所要量			備 考
		石灰 (t)	りん酸質 資材 (t)	有機質 資材(t)	



第7節 洪水調節計画（該当無し）

1. 計画基準雨量 該当なし

2. 計画洪水量及び調節量 該当なし

(2-1)

(第14表-1)

地点	流域面積 (km <sup>2</sup> )	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	安全洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	必要調節量 (m <sup>3</sup> /s)	ピーク時調節量 (m <sup>3</sup> /s)

(2-2)

(第14表-1)

地点	ピーク時調節後流量 (m <sup>3</sup> /s)	調節後最大流量 (m <sup>3</sup> /s)	調節前後の最大流量の差 (m <sup>3</sup> /s)	備考 (m <sup>3</sup> /s)

3. 貯水池

(2-1)

(第14表-2)

貯水池名	流域面積(km <sup>2</sup> )		計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	貯水量(千 m <sup>3</sup> )		
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的

(2-2)

(第14表-2)

貯水池名	計画調節流量 (m <sup>3</sup> /s)	可能調節流量 (m <sup>3</sup> /s)	備考

4. 洪水調節検討 該当なし

(1) 河川改修計画との関係

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

5. 管理計画 該当なし

(1) 管理機構

(2) ダム管理操作上の各種基準

(3) 洪水調節要領

第8節 干拓計画（該当無し）

（第15表）

項目 名称	延 長 (m)	計画高潮(水)位 (T.P.m)	風向及び 対岸距離 (km)	風 速 (m/s)	気 圧 (mb)	備 考

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
200×100	16.7	16.7	100%	—	
計		16.7			

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m <sup>3</sup> )	備考
16.7	耕土の下は琉球石灰岩となっており、耕土深が浅いことから表土扱いを要する。	60	100,200	扱い深は平均耕土深

(3) 末端道水路配置図

2. 暗渠排水 (該当無し)

(1) 暗渠排水

(2-1)

(第16表-3-1)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統(区分)	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 ( $\frac{l}{s}/ha$ )
	事業名		計			
計						

(2-2)

(第16表-3-1)

項目 区分	計画後の地下 水位 (m)	集水渠出口以 下の排水方法	備考
計			

(2) 心土破碎

(第16表-3-2)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統(区分)	土壌硬度	備考
	事業名		計			
計						

3. 客 土 (該当無し)

(2-1)

(第16表-4)

項目 区分	面 積 (ha)			土壌統(区分)	減水深(mm/日)	
	事 業 名				現 況 平 均	計 画 平 均
			計			
計						

(2-2)

(第16表-4)

項目 区分	作土の厚さ(cm)		10a当たり 客土量 (m <sup>3</sup> )	土 壤 の 性 質		備 考
	現 況 平 均	計 画 平 均		受 益 地 (m <sup>3</sup> /s/ha)	採土地(客土 材料 (%)	
計						

4. 農地保全 (該当無し)

(1) 防災林

(第16表-5-1)

項目 区分	最 大 風 速 (m/s)	幅 (m)	間 隔 (m)	備 考
防風林				

(2) 排水路

(第16表-5-2)

項目 名称	基 準 雨 量 (mm/日)	土 性	流 出 率	排 水 量		備 考
				単 位 排 水 量 (m <sup>3</sup> /s/ha)	全 排 水 量 (m/s)	

(3) 浸食防止工

(第16表-5-3)

項目 施設名	位 置	支 配 面 積 (ha)	機 能	備 考

第10節 老朽ため池改修計画（該当無し）

1. 洪水吐改修計画 該当なし

(1) 計画基準雨量

(2) 計画洪水量

2. 堤体補強計画 該当なし

3. 取水施設改修計画 該当なし

## 第5章 主要工事計画

### 第1節 用水施設（該当無し）

#### 1. 貯水池 該当なし

(2-1) (第17表-1)

名称			
提体	形式	流域面積(km <sup>2</sup> )	
		直接	間接
洪水吐	形式	洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	

(2-2) (第17表-1)

位置						
提高 (m)	提長 (m)	提体積 (m <sup>3</sup> )	基盤地盤 地質	貯水量(千m <sup>3</sup> )		備考
				総貯水量	有効貯水量	
取水施設	形式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	放流施設	形式	放流量 (m <sup>3</sup> /s)	

#### 2. 頭首工（該当無し）

(2-1) (第17表-2)

名称				位置	
形式	提高 (m)	提長 (m)		計	取水位 (m)
		固定部	可動部		

(2-2) (第17表-2)

名称			備考
形式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	付帯施設	



3. 揚水機 (該当無し)

(2-1)

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 ( $m^3/s$ )	揚程 (m)		形式
			全揚程	実揚程	

(2-2)

(第17表-3)

項目 名称	揚水機		原動機			備考
	口径 (mm)	台数 (台)	形式	動力 ( )	台数 (台)	



第2節 排水水門（該当無し）

1. 排水水門 該当なし

(2-1)

(第18表-1)

項目 名称	位置	形式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)
計					

(2-2)

(第18表-1)

項目 名称	排水路 (m <sup>3</sup> /s)	備考
計		

2. 排水機

(2-1)

(第18表-2)

項目 名称	位置	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	揚程(m)		排水機
			全揚程	実揚程	形式

(2-2)

(第18表-2)

項目 名称	排水機		原動機			備考
	口径 (mm)	台数 (台)	形式	動力 ( )	台数 (台)	

3. 排水路 該当なし

(2-1)

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積(ha)			排水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長(km)			構造
	事業名				開きよ	トンネル その他	計	
			計					
計								

(2-2)

(第18表-3)

項目 水路名	勾配	主要構造物	備考
計			

4. その他排水施設 該当なし



(2) 道路主要構造物

(第19表-2)

項目 路線名	名称	規模構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考

2. 索道 該当なし

(第19表-3)

項目 名称	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原動機		備考
				形式	動力 ( )	

第4節 農用地造成（該当無し）

1. 農用地造成 該当なし

(1) 抜根

(第20表-1)

項目 区分	樹種	樹径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考
計						

(2) 除礫

(第20表-2)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m <sup>3</sup> /ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

(3) 開墾作業

(第20表-3)

項目		面積 (ha)	工法	備考
区分	造成工法			
地目				
計				

(4) 地目交換

(第20表-4)

項目	面積 (ha)	工 法	備 考
区分			
計			

(5) 末端用水路等

(第20表-5)

項目	数 量	規 模	構 造	備 考
区分				
計				

(6) 末端排水路等

(第20表-6)

項目	数 量	規 模	構 造	備 考
区分				
計				

2. 土壤改良 該当なし

(第20表-7)

項目	面 積 (ha)	石灰量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備 考
区分					
計					



第5節 洪水調整施設（該当無し）

1. 貯水池 該当なし

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工

(2-1)

(第21表-2)

名 称			位 置		
			提 長 (m)		
形 式	集水面積 (km <sup>2</sup> )	提 高 (m)	固定部	可動部	計

(2-2)

(第21表-2)

名 称			備考
	計画洪水位 (m)	付帯施設	
形 式			

(2) 導水路

(2-1)

(第21表-3)

項目 水路名	通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延 長 (m)		
		トンネル	その他	計

(2-2)

(第21表-3)

項目 水路名	構 造	勾 配	備 考

第6節 干拓施設（該当無し）

1. 堤防 該当なし

(2-1)

(第22表-1)

項目 名称	型式	延長 (m)	構造		
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装

(2-2)

(第22表-1)

項目 名称	構造		原地盤標高(m)		備考
	上流斜面	下流斜面	平均	最低	

2. 潮止め 該当なし

(2-1)

(第22表-2)

項目 名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)

(2-2)

(第22表-2)

項目 名称	最大流速 (m)	床固め構造	備考

3. 付属施設 該当なし

4. 埋立 該当なし

(第22表-3)

項目 区分	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立標高 (m <sup>3</sup> )	施工方法	構造

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工区名	面積 (ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量 (m <sup>3</sup> )	面積 (ha)	土量 (m <sup>3</sup> )	
ミナト・ヨサシ原	16.7	200×100	103,500	16.7	100,200	

(2) 末端用水路等

(第23表-2)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

(3) 末端排水路等

(第23表-3)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

2. 暗渠排水 該当なし

(1) 暗渠排水

(3-1)

(第23表-4-1)

項目	面積 (ha)			集水渠			
	事業名			勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)
区分			計				
計							

(3-2)

(第23表-4-1)

項目	排水渠						名称
	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	
区分							
計							

(3-3)

(第23表-4-1)

項目	集水渠出口以下の排水施設		備考
	構造	数量 (m/ha)	
区分			
計			

(2) 心土破碎

(第23表-4-2)

項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m <sup>3</sup> /ha)	面積 (ha)	工法	備考
区分					
計					

3. 客土 該当なし

(2-1)

(第23表-5)

区分	項目	面積 (ha)		客入土量 (m <sup>3</sup> )	土取場土量 (m <sup>3</sup> )	運搬距離 (km)
		事業名	計			
	計					

(2-2)

(第23表-5)

区分	項目	運搬方法	備考
	計		

4. 除礫

(第23表-6)

区分	項目	対象土層の 厚さ (cm)	ha当たり標準 除礫量 (m <sup>3</sup> /ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計					

5. 農地保全

(1) 防災林

(2-1)

(第23表-7)

区分	項目	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種
	計				

(2-2)

(第23表-7)

区分	項目	植栽本数 (本)	備考
	計		



第8節 老朽ため池改修施設（該当無し）

1. 貯水池 該当なし

(第24表)

名称					位置			
提体	形式	流域 (km <sup>2</sup> )	提高 (m)	提 長 (m)	提体積 (m <sup>3</sup> /s)	提頂幅 (m)	貯水量 (千m <sup>3</sup> )	備 考
洪水吐	形式	洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	規模 (m)	備 考	取水 施設	形式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	備 考

2. 提体補強施設 該当なし

(1) のり面保護施設

(2) 漏水防止工

## 第6章 附帯工事計画 (該当無し)

## 第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着手	令和	6	年度
完了	令和	12	年度



## 第8章 環境と調和への配慮

### 1. 事業計画における配慮

事業計画の策定に当たっては、「伊江村田園環境整備マスタープラン」に掲載された環境保全の基本的考え方を考慮し、現地調査結果を十分反映させた、環境への配慮に努めた計画を策定するものとする。

### 2. 工事実施における配慮

工事実施に当たっては、環境に負担を与えるのを最小限に抑えるための工法を検討し、地区外への影響が出ないように留意して施行を行う。また工事期間中は、「沖縄県赤土等流出防止条例」に基づいて、浸透池の設置、降雨時のシート被覆等により赤土流出防止対策を重点的に行う。

### 3. 貴重な動植物、文化財及び景観等への配慮

貴重な動植物等は、本地区には確認されていない。文化財については、地区近隣に分布しており、工事の際に影響がでないように留意して施工を行う。

## 第9章 換地計画の概要

### 第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

換地計画の樹立に当たっては、特に農用地の集団化その他農業構造の改善及び土地利用の合理化が図られるように、換地設計基準を定め、換地計画書を作成する。

### 第2節 換地区の設定 該当なし

#### 1. 換地区の名称、所在、面積 該当なし

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)

#### 2. 換地区を設定する理由 該当なし

### 第3節 換地計画樹立の基本方針

#### 1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準
ミナト・ヨサシ原	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。ただし、上記の日から6ヶ月以内に測量士、測量士補及び土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申し出があった場合は、その申し出のあった地積とする。

2. 用途別予定地積

(4-1)

(単位:ha) (第25表-3)

用途 (取得予定者)		非農用地区域外に換地する土地							
		田	畑	山林・原野	その他	通常事業施工地域に含める土地(令第1条の9( )書き)			計
						土地改良施設	その他	小計	
換地区名	前後								
ミナト・ヨサシ原	従前の土地	0.0	18.8	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	19.1
	換地	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
合計	従前の土地	0.0	18.8	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	19.1
	換地	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7

(4-2)

(単位:ha) (第25表-3)

用途 (取得予定者)		非農用地区域に換地する土地							
		本事業によって生ずる土地改良施設用地			創設農用地	合計	特定用途用地		
		改良区	その他	計			宅地	その他	計
換地区名	前後								
ミナト・ヨサシ原	従前の土地	0.0	0.0	0.0	—	19.1			
	換地	0.0	1.7	1.7	—	18.4	0.0	0.0	0.0
合計	従前の土地	0.0	0.0	0.0	—	19.1			
	換地	0.0	1.7	1.7	—	18.4	0.0	0.0	0.0

(4-3)

(単位:ha) (第25表-3)

用途 (取得予定者)		非農用地区域に換地する土地							合計	国
		異種 目換地	創設非農用地					計		
			農業経営 合理化施 設用地	生活上・ 経営上必 要な施設 用地	公用・公 共用施設 用地	宅地等				
換地区名 前後										
ミナト・ヨサシ原	従前の土地	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	換地	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7	0.0	
合計	従前の土地	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	換地	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7	0.0	

(4-4)

(単位:ha) (第25表-3)

用途 (取得予定者)		機能交換に係る土地			一般 国公有地	総合計
		県	市町 村他	合計		
換地区名 前後						
ミナト・ヨサシ原	従前の土地	0.0	1.0	1.0	0.0	20.1
	換地	0.0	1.0	1.0	0.0	20.1
合計	従前の土地	0.0	1.0	1.0	0.0	20.1
	換地	0.0	1.0	1.0	0.0	20.1

### 3. 農用地集団化の方針

(第25表-4)

区分 換地地区	地帯別、グループ別 団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い
ミナト・ヨサシ原	なし	各人の従前の土地が、もともと密集した位置を中心として、概ねその付近で定める。	一戸当たりの団地数はおおむね2団地以内を目標とする。	1. 区画の設置は原則として、長辺に沿って設定するが、この場合短辺部が農地利用に支障が無いように留意する。 2. 設定後は道路に沿うように配備する。

### 4. 非農用地換地の方法

(2-1)

(第25表-5)

区分 換地地区	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (m <sup>2</sup> )	換地の手法
ミナト・ヨサシ原	共同営農施設	おおむね従前どおり	6,806	特定用途用地換地

(2-2)

(第25表-5)

区分 換地地区	換地取得予定者	その他
	沖縄県農業協同組合	

#### 第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法 標準地より減点方式

2. 清算の方法 比例地積精算方式

#### 第5節 換地計画書樹立の年度計画

(第25表-6)

区分 換地地区	一時利用地の 指定予定年度	換地計画の 決定予定年度	換地処分 予定年度	備考
ミナト・ヨサシ原	令和8年度～ 令和12年度	令和13年度	令和13年度	

#### 第6節 換地処分の時期に関する特則

換地区の全部について区画変更工事が完了し、確定測量が行われた時は、土地改良法第89条の2第10項により準用する第54条第2項のただし書きにより換地処分を行うことができる。

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

事業名		区画整理 (百万円)	備 考
区分			
主要工事		980	R5年度単価
附帯工事		—	
計		980	
関連事業 (参考)	国営	—	
	都道府県営	—	
	団体営	—	

第11章 効 用

(第27表)

事業名	効 果 区 分		年総効果(便益) 額 (千円)	年増加農業所 得額 (千円)	備 考
区画整理・農業用排水施設	食料の安定供給の確保に関する効果	作物生産効果	11,702	19,259	
		品質向上効果	1,976	1,976	
		営農経費節減効果(区画整理)	13,312	13,312	
		営農経費節減効果(畑かん)	—	—	
		維持管理費節減効果(区画整理)	△ 2,450	△ 2,450	
		維持管理費節減効果(畑かん)	—	—	
		営農に係る走行経費節減効果	—	—	
	農業の接続的発展に関する効果	耕作放棄防止効果	—	—	
		災害防止効果(農業)	—	—	
		農業労働環境改善効果	—	—	
	農村の振興に関する効果	災害防止効果(一般資産)	—	—	
		地域用水効果	—	—	
		一般交通等経費節減効果	—	—	
		地籍確定効果	—	—	
		国土造成効果	—	—	
		非農用地等創設効果	—	—	
	多面的機能の発揮に関する効果	災害防止効果(公共施設)	—	—	
		水源かん養効果	—	—	
		景観・環境保全効果	37,051	—	
		都市・農村交流促進効果	—	—	
		その他効果(赤土等流出防止効果)	—	—	
		国産農産物安定供給効果	2,158	—	
	合 計		63,749	32,097	

区分	算定式	数値	備考
総費用(現在価値化)	③=①+②	838,036 千円	
当該事業による費用	①	766,308 千円	
その他費用(関連事業費+資産価額+再整備費)	②	71,728 千円	
年償還額	④	— 千円/年	
うち機能向上分	④'	— 千円/年	
年総効果(便益費) 額	⑤	63,749 千円	
現況年総農業所得額	⑥	38,430 千円	
年増加農業所得額	⑦	32,097 千円	
評価期間(当該事業の工事期間+40年)		48 年	
割引率		0.04	
総便益額(現在価値化)	⑧	1,094,814 千円	
総費用総便益比	⑨=⑧/③	1.30	
総所得償還率	⑩=④/⑥×100	— %	
増加所得償還率	⑪=④'/⑦×100	— %	

## 第12章 関連する事業

(第28表)

区分	事業名	事業主体	受益面積 (ha)	事業内容

## 第13章 現況・計画平面図

1. 現況平面図 {別紙}

2. 計画平面図及び土地利用計画図 {別紙}

3. 主要構造図 {別紙}